

がん専門医育成推進講座

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	谷澤 昭彦	平成27年4月1日～
客員教授	山本 和高	平成27年4月1日～平成28年3月31日

2. 研究概要

研究概要

- がん薬物療法、放射線治療、病理診断の分野でがん専門医資格取得を支援し、福井県のがん診療に貢献できるシステムを構築する。
- 小児慢性骨髄性白血病の標準治療を確立する。

キーワード

がん診療、研修医、専門医資格、地域医療、慢性骨髄性白血病

業績年の進捗状況

- 本講座の立ち上げに伴い、がん薬物療法、放射線治療、病理分野の福井大学および基幹病院連絡担当医師との会議の場を設け、今後の広報や研修プログラム参加者募集などについて検討した。また情報交換を目的に各分野の医師メーリングリストを立ち上げ、また病院間を結ぶweb会議システムを導入し、がん薬物療法専門医連絡会の参加者にも呼び掛けて、定期的な造血細胞移植webカンファレンスを開始した。医学生・初期研修医を対象とした最前線の病理医・放射線治療医の日常業務の見学会、関連学会の学生対象の夏季セミナーへの案内、放射線治療装置の見学会等を、企画実施した。さらに医学生や研修医を対象としたがん専門医人材育成シンポジウムを開催した。日本医師会発行の高校生・医学生対象の冊子（Doctor-ase）、放射線腫瘍学会のニュースレター等にて講座活動の紹介を行った。講座開始初年度の2015年は大学病院院内および院外から8名の医師が本講座の専門医育成プログラムに登録した。専門医資格取得のために、関連する学会への参加や専門医研修に必要な支援を行い、卒業後5年目医師が病理専門医資格を取得した。
- 日本小児がん研究グループ血液腫瘍分科会CML委員会委員長として進行中の臨床研究の管理と新規研究の準備を進めるとともに、小児慢性骨髄性白血病の診療ガイドラインおよび総説を執筆した。

特色等

さまざまな臓器に発生するがんの診療に横断的にかかわる病理診断、がん薬物療法、放射線治療の各専門医を育成するために、これら3分野ごとに県内の医師・検査技師の間で構築されたネットワークを活用して、病院間の垣根を超えた全県的な研修プログラムに参加することができる。大学病院に限らず大学以外の施設に勤務しながら専門医育成システムに参加できる特色を有している。

本学の理念との関係

本学の理念に沿って、がん診療における高度な医学知識を修得するとともに、患者および医療チームのなかで信頼し得る医療人を育成する。同時に福井県でのがん地域医療の向上に寄与することを目的としている。

3. 研究実績

区分		編数	インパクトファクター（うち原著のみ）
		2015年分	2015年分
和文原著論文		0	—
	ファーストオーサー	1	0.73 (0)
英文論文	コレスポンディングオーサー	0	0 (0)
	その他	5	10.047 (10.047)
	合計	6	10.777 (10.047)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

15104001

H. Moritake, M. Obara, N. Sameshima, Y. Asada, H. Komatsu, N. Hyakuna, K. Sugita, Y. Ishida, M. Kato, A. Tanizawa, T. Deguchi, T. Imamura, A. Kitanaka, K. Shimoda, S. Kamimura, H. Nunoi: Analysis of the molecular mechanism underlying bone marrow necrosis with acute lymphoblastic leukemia, INTERNATIONAL JOURNAL OF HEMATOLOGY, 102(3), 349-356, 201509, DOI: 10.1007/s12185-015-1843-8, #1.918

15104002

S. Ohba, A. Tanizawa, H. Yoshimura, S. Matsuda, Y. Imamura, K. Sano: A case of retinoblastoma metastasizing to the mandible and review of literature, Cranio, 34(2), 133-138, 201603, DOI: 10.1179/2151090314Y.0000000032 (症例報告), #0.723

15104003

H. Kurosawa, A. Tanizawa, C. Tono, A. Watanabe, H. Shima, M. Ito, Y. Yuza, N. Hotta, H. Muramatsu, M. Okada, R. Kajiwar, A. Moriya Saito, S. Mizutani, S. Adachi, K. Horibe, E. Ishii, H. Shimada: Leukostasis in Children and Adolescents with Chronic Myeloid Leukemia: Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group., Pediatric blood & cancer, 63(3), 406-411, 201603, DOI: 10.1002/pbc.25803, #2.386

15104004

M. Yasutomi, S. Kunishima, S. Okazaki, A. Tanizawa, S. Tsuchida, Y. Ohshima: ACTN1 rod domain mutation associated with congenital macrothrombocytopenia., Annals of hematology, 95(1), 141-144, 201601, DOI: 10.1007/s00277-015-2517-6 (症例報告), #2.634

15104005

M. Yasutomi, K. Yoshioka, A. Mibayashi, A. Tanizawa, K. Imai, O. Ohara, Y. Ohshima: Successful Myeloablative Bone Marrow Transplantation in an Infant With Wiskott-Aldrich Syndrome and Bacillus Calmette-Guerin Infection., Pediatric blood & cancer, 62(11), 2052-2053, 201510, DOI: 10.1002/pbc.25588 (症例報告), #2.386

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

15104006

A. Tanizawa: Optimal management for pediatric chronic myeloid leukemia., Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society, 58(3), 171-179, 201603, DOI: 10.1111/ped.12876, #0.730

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

15104007 谷澤 昭彦：分子標的薬：日本小児血液・がん学会：小児血液・腫瘍学，診断と治療社，137-142，201511，978-4-7878-2098-3

15104008

谷澤 昭彦、黒澤 秀光：慢性骨髄性白血病CML：日本小児血液・がん学会：小児白血病・リンパ腫診療ガイドライン2016年版，第3版，金原出版株式会社，55-64，201602，978-4-307-17069-7

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

15104009 谷澤 昭彦：医学教育の展望 専門医の効率的な資格取得を支援する，DOCTOR-ASE，16，34-35，20160125

15104010

谷澤 昭彦：福井県における放射線治療専門医育成プログラム：福井大学医学部「がん専門医育成推進講座」の役割，JASTRO NEWSLETTER，117，20-21，201509

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

15104011 H. Shimada, H. Kurosawa, A. Watanabe, M. Ito, C. Tono, H. Shima, Y. Yuza, H. Muramatsu, N. Hotta, M. Okada, A. Tanizawa.: Interim analysis of a multicenter, prospective study for pediatric chronic myeloid leukemia in chronic phase: the JPLSG CML-08 study, 57th ASH Annual Meeting and Exposition, Orlando (USA), 20151204

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

15104012 嶋田 博之、黒澤 秀光、渡辺 輝浩、伊藤 正樹、遠野 千佳子、嶋 晴子、湯坐 有希、村松 秀城、堀田 紀子、岡田 雅彦、谷澤 昭彦：小児慢性期慢性骨髄性白血病（CML）に対する多施設共同観察研究CML-08：平成27年度予備解析，第57回日本小児血液・がん学会学術集会，甲府市，20151129，日本小児血液・がん学会雑誌，52(4)，251，201510

15104013

湯坐 有希、嶋田 博之、黒澤 秀光、渡辺 輝浩、伊藤 正樹、遠野 千佳子、嶋 晴子、村松 秀城、堀田 紀子、岡田 雅彦、谷澤 昭彦：JPLSG CML-08 予備解析報告2015：急性有害事象について，第57回日本小児血液・がん学会学術集会，甲府市，20151129，日本小児血液・がん学会雑誌，52(4)，252，201510

15104014

嶋 晴子、嶋田 博之、黒澤 秀光、渡辺 輝浩、伊藤 正樹、遠野 千佳子、湯坐 有希、村松 秀城、堀田 紀子、岡田 雅彦、谷澤 昭彦：小児慢性期CML 患者における骨代謝とチロシンキナーゼ阻害剤による影響（JPLSG CML-08 研究），第57回日本小児血液・がん学会学術集会，甲府市，20151129，日本小児血液・がん学会雑誌，52(4)，252，201510

15104015

H. Shima, A. Tanizawa, C. Tono, A. Watanabe, H. Kurosawa, M. Ito, Y. Yuza, H. Muramatsu, H. Goto, H. Shimada: Impact of TKI on Gonadal Function in CML-CP Children: JPLSG CML-08 Study, 第77回日本血液学会，金沢市，20151016，臨床血液，56(9)，1400

15104016

盛武 浩、鮫島 直樹、百名 伸之、杉田 完爾、加藤 元博、石田 也寸志、谷澤 昭彦、出口 隆生、今村 俊彦、布井 博幸：骨髄壊死には白血病細胞由来の細胞障害因子によるアポトーシスが関与している，第118回日本小児科学会学術集会，大阪市，20150417，日本小児科学会雑誌，119(2)，261，201502

d. 一般講演（ポスター）

15104017 渡邊 一寿、巨田 元礼、吉川 利英、鈴木 孝二、谷澤 昭彦、大嶋 勇成、今村 好章：急性骨髄性白血病治療中にムコールによる急性虫垂炎および肝臓癌を合併した一例，第118回日本小児科学会学術集会，大阪市，20150418，日本小児科学会雑誌，119(2)，414，201502

15104018

吉川 利英、鈴木 孝二、畑 郁江、谷澤 昭彦、大嶋 勇成、吉村 仁志、佐野 和生、大越 忠和：骨を破壊し口腔内へ進展した下顎骨乳児血管腫の2 か月男児例，第57回日本小児血液・がん学会学術集会，甲府市，20151127，日本小児血液・がん学会雑誌，52(4)，281，201510

15104019

鈴木 孝二、谷澤 昭彦、熊野 麻美、吉野 智美、村井 宏生、吉川 利英、中嶋 秀明、今村 好章、畑 郁江、大嶋 勇成：多発肺転移にて再発した21 か月時発症の線維肉腫一男児例，第57回日本小児血液・がん学会学術集会，甲府市，20151127，日本小児血液・がん学会雑誌，52(4)，303，201510

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

15104020

谷澤 昭彦：何か変だと思ったときに「小児がん？」と疑ってみること、平成27年度福井県小児科医会総会、永平寺町、20160312、福井県小児科医会会報、45、70-71、2016

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

15104021

林 泰平、津田 雅世、鈴木 孝二、谷澤 昭彦、大嶋 勇成：頸胸部に伸展する腫瘍性病変による気道閉塞状態から救命しえた12歳男児例、第19回北陸小児救急・集中治療研究会、金沢市、20150509

15104022

鈴木 孝二、津田 雅世、林 泰平、村井 宏生、吉川 利英、大嶋 勇成、谷澤 昭彦：同種末梢血幹細胞移植後にdonor type aplasiaに陥った小児不応性血球減少症の男児例、第1回北陸小児血液研究会、金沢市、20150711

15104023

鈴木 孝二、津田 雅世、林 泰平、杉田 元気、黒川 哲司、畑 郁江、今村 好章、吉川 利英、谷澤 昭彦、大嶋 勇成：急性腹症で発症した卵巣未分化胚細胞腫の経験、第34回京都大学小児血液腫瘍研究会、京都市、20160227

15104024

岡田 直樹、土岐 真、岸川 太、桑原 強、高橋 貞佳、河野 美幸、黒瀬 望、湊 宏、野島 孝之、鈴木 孝二、谷澤 昭彦：MYCN陰性新生児神経芽腫の治療経過、第43回北陸小児癌講演会、金沢市、20160213

15104025

山田 健太、吉川 利英、田中 奈々絵、鈴木 孝二、谷澤 昭彦、大嶋 勇成、藤本 大裕、村上 真、酒井 康弘、今村 好章：初発時に両側腎転移を認めた神経芽腫の治療経過について（第2報）、第42回北陸小児癌症例検討会、金沢市、20150919

15104026

鈴木 孝二、津田 雅世、林 泰平、村井 宏生、吉川 利英、谷澤 昭彦、大嶋 勇成：同種末梢血幹細胞移植後に血小板減少状態が遷延している小児不応性血球減少症の男児例、第10回 京都地区小児血液腫瘍研究会、京都市、20150725

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(G) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）

(B) 奨学寄附金

受入件数	1
受入金額	19474844

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
その他の研究集会	主催者	がん専門医育成シンポジウム	20151129-20151129	永平寺町

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本感染症学会	一般会員	谷澤 昭彦
日本臨床腫瘍学会	一般会員	谷澤 昭彦
日本造血細胞移植学会	一般会員	谷澤 昭彦
日本小児血液・がん学会	一般会員	谷澤 昭彦

(C) 座長

国内学会	学会名	氏名
一般講演（口演）	第45回（福井）血液・腫瘍Roundtable Conference	谷澤 昭彦

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名
----------	------------	----

(E) その他